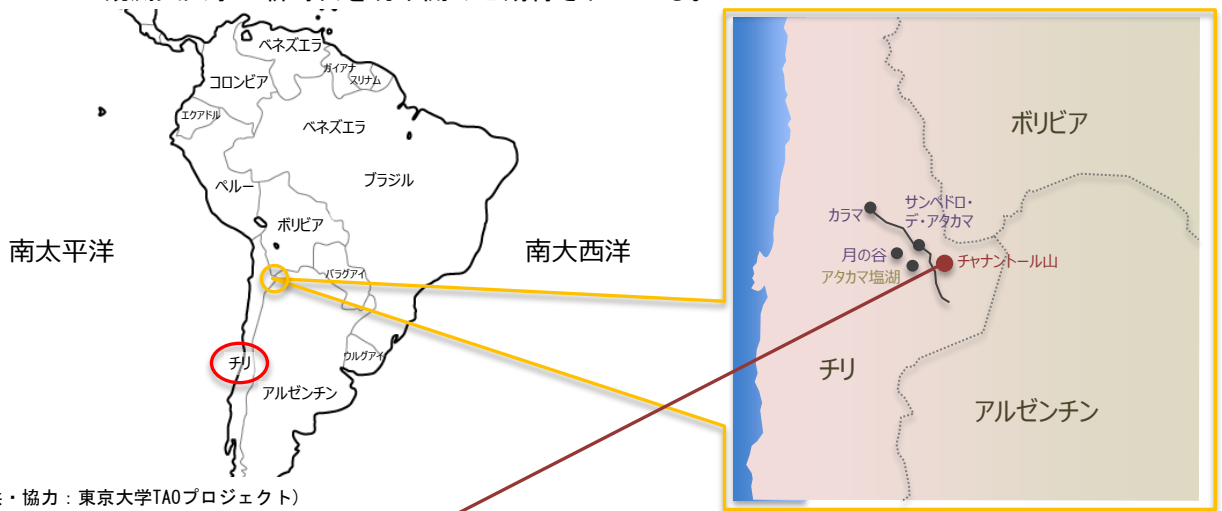


東京大学アタカマ天文台プロジェクト

プロジェクト名	東京大学アタカマ天文台 (TAO) 計画 (The University of Tokyo Atacama Observatory Project)
場所	チリ共和国 北部アタカマ砂漠 チャナントール山頂 (標高5,640m)
施設種別	天文台
業務	設計業務・プロジェクト管理業務
施設概要	東京大学アタカマ天文台 (TAO) は、チリ北部アタカマ砂漠にそびえる高峰、チャナントール山頂 (標高5,640m) に位置する世界で最も標高の高い天文台である。TAO計画は、この山頂に世界最高水準となる口径6.5mの大型赤外線望遠鏡を建設し、天文学最大の謎である銀河の誕生や惑星の起源の解明を目指している。山頂サイトは、晴天率が高く、非常に乾燥した場所ので、大気中の水蒸気が少ないことから、宇宙からの赤外線が大気に吸収されずに観測できる。このため、TAO望遠鏡は従来は地上からは不可能とされていた波長域での観測を可能にして、観測天文学の新時代を切り開くと期待されている。



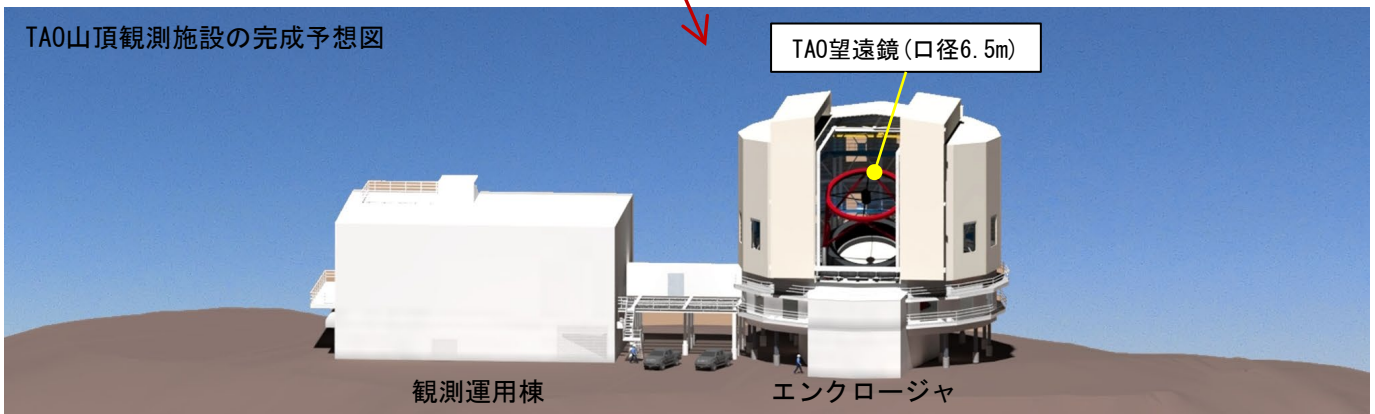
(以下画像の提供・協力：東京大学TAOプロジェクト)



TAO望遠鏡を設置するチャナントール山 (標高5,640m)



天文台から見える天の川 (撮影者：中西昭雄様)



観測運用棟

エンクロージャ